編 集 後 記

「新たな息吹を」

新緑の候，会員の皆さまにおかれましては，診療報酬改定への対応など厳しい医療環境のなか，新年度を如何お迎えでしょうか．お伺い申し上げます．

日本透析医会は公益社団法人への移行により，山﨑会長が提案いたします公益性の高い事業計画が順調に実行され，良質な透析医療を提供できるよう，一層の創意工夫を求められております．その具体的な活動のひとつとして，これまで年2回東京において開催されておりました会員の研修会（研修委員会委員長　大平整爾先生）が，「新たな息吹を」吹き込み活性化を図る目的で，年1回東京以外で開催されることになりました．平成23年10月23日に福岡県透析医会の全面的なご協力により，福岡市で研修セミナー「透析医療におけるCurrent Topics 2011（福岡開催）主題：日常透析に横たわる困難性への挑戦」が開催され，大変有意義なセミナーとなりました．また，日本透析医会災害時透析医療対策部会が部会から委員会に変更され，山川智之先生が委員長へ就任されました．

本号は福岡市での「研修セミナー」の講演内容，「東日本大震災における対応」をはじめ，各執筆者より透析医療における今日の大切な課題について，大変貴重な見解をお寄せいただきました．関係各位の積極的な活動は心強い限りです．是非ご一読下さい．

広報委員会では，適正な人工透析療法の普及を目指し，機関誌を年3回発行しておりますが，タイムリーな掲載，カラー化，参考URLの採用など，久保和雄委員長を中心に，紙面の充実に努めて参りました．そして現在，新しい企画としてLetter to the Editorの掲載を準備中です．本年度も日本透析医会にふさわしい「新たな息吹を」感じさせる会誌の発行に向けて，より一層努力いたす所存です．会員皆さまのご協力，ご意見，ご投稿をよろしくお願いいたします．

京都では，新緑の映える5月15日に飛鳥時代より今に伝えられる葵祭りが予定され，双葉葵に飾られた斎王代の優雅な姿が見られます．新年度にあたり，公益社団法人日本透析医会の「新たな息吹を」を心より祈念いたします．

広報委員　青 木　　正